

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	38022	
事業名	障がい者スポーツ普及促進費						
評価担当課	所属名	ス)スポーツ部 企画事業課					
	課長名	深井 貴広	担当者名	藤本 翔	電話番号	011-211-3044	
施策名	主	地域で共生する環境づくり					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	障がいのある方がスポーツを楽しめる機会を作るとともに、市民の障がい者スポーツへの理解を深め、障がい者スポーツをする・支える気運を醸成する 札幌市主催の体験会等の年間参加人数及びスタッフボランティア人数 目標(R4):2,500人				
		長期	障がいの有無にかかわらず、誰もが生きがいを持って生き生きと暮らせる共生社会を実現する。				
	取組内容	【目的】障がい者の競技スポーツの普及拡大や競技力向上、市民理解の促進を図る 【事業内容】 ①障がい者スポーツの体験会や指導者養成講習会を実施 ②障がい者スポーツクラブの運営 ③全国障害者スポーツ大会への札幌市選手団派遣及びブロック予選会出場選手等への補助等 ④その他障がい者スポーツ普及促進に関する事業					
実施結果	新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となったイベントや大会もあったが、感染対策を十分に施した上で、商業施設でのイベントや冬季スポーツ(バイスキー)の講習会、クラブ活動、シットスキーを活用した学校授業を実施したほか、新たにパラアスリートによる学校授業やボランティア養成講習会を実施した。						
事業実施における工夫点	札幌市障がい者スポーツ普及促進協議会の各委員のからの助言を参考に、事業実施に工夫を施した。						
対象者	障がいのある方を主とした市民全般			開始	平成29年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等	スポーツ基本法						
他都市の状況	東京オリンピック・パラリンピック開催を機に、各政令指定都市や都道府県において障がい者スポーツの体験会や教室、選手・指導員の養成など障がい者スポーツの普及促進事業が行われている。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	6,110	37,000	13,666	33,000	
うち特定財源	2,285	3,153	0	0	
人工	1.0	1.0	2.0	2.0	
人件費	7,200	7,200	14,400	14,400	
計(事業費+人件費)	13,310	44,200	28,066	47,400	
事業費の内訳	令和3年度決算	障がい者スポーツ体験会及び指導者養成講習会開催:6,254千円 全国障害者スポーツ大会への選手団派遣:1,914千円 競技用具の購入等:4,665千円 その他:833千円			
	令和4年度予算	障がい者スポーツ体験会及び指導者養成講習会開催:8,092千円 全国障害者スポーツ大会への選手団派遣、障がい者スポーツ推進事業補助金等:24,861千円 その他:47千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	障がい者スポーツクラブの参加者延べ人数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	150人	200人	166人	事業終了	
活動指標2	指標名	体験会等の参加者延べ人数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	700人	1,400人	6,104人	2,500人	
成果指標1	指標名	札幌市在住の障がい者(成人)の週1回以上のスポーツ実施率			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	12月調査予定	53.00%	49.70%	50%	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	新型コロナウイルス感染症の拡大により事業の中止や規模の縮小を余儀なくされたが、感染状況を見極めつつ、感染防止策を講じて、事業を進めることができた。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	B	新型コロナウイルス感染症拡大により実施できなかった事業があるため、収束後に効果的な事業を実施できるように取り組んでいく。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	委託先と密に連携を取りながら、問題なく実施できた。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	事業の参加者からだけでなく、委託先や関係者からも好評を得ており、継続的な開催を望む声があがっている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	障がいのある方が日常的にスポーツに取り組めるよう環境整備を図る。				
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	指導者養成講習会の参加対象を拡大し、より多くの受講者を集めることができた。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	東京パラリンピック開催により、パラスポーツに注目が集まった機を逃さず、多くの人が集まる商業施設で障がい者スポーツの関心を高めるためのイベントを実施した。また、障がい者スポーツを支える人材の育成につなげるため、大学生や専門学生といった若い世代を対象に、ボランティア養成講習会を行った。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input checked="" type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 パラスポーツへの理解拡大と普及促進に向け、事業や調査を進めていく。			
	予算	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 障がい者スポーツ体験の回数増等による規模拡大 パラアスリートによる学校授業の実施校数増による規模拡大		見直し効果額	0